

(四倉地区まちづくり検討会)
令和5年度第4回4KuLabo①②合同ワーキンググループ会議
(交流・防災拠点づくり検討WG・公共施設再編後の跡地利活用検討WG)
要旨

■ 日 時

令和6年1月25日(木) 18:30~20:00

■ 場 所

四倉商工会館 大会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶
 - ・都市計画課長
 - ・四倉地区行政嘱託員(区長)協議会 会長
- 3 議事
 - (1) 前回のおさらい
 - (2) 交流・防災拠点施設の整備の検討について
 - (3) 今後の進め方について
- 4 その他
- 5 閉会



■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員 ●講師
(説明: 前回のおさらいについて)

- ご意見なし

(説明: 交流・防災拠点施設の整備の検討につて)

まちづくりプレイヤー様

- 交流・防災拠点施設のだいたいのレイアウト図が示されましたが、小中学校で使用する諸室(家庭科室や音楽室)がコミュニティ施設側にあることや、小中学校の授業や運動会でグラウンドの利用がかぶったりしないのか、ちょっと疑問を感じています。
⇒ 今回の検討にあたっては、学校の先生方にもヒアリングをさせていただきながら整理させていただいています。そのうえで、家庭科室や音楽室などの諸室については、学校の授業のみの利用ではなく、地域への開放も検討をしているため、コミュニティ施設に配置しているところです。そのため、授業がある場合は児童生徒がコミュニティ施設に移動していただくような考えで整理しています。また、グラウンドについても、学校ヒアリングの中で、カリキュラムの工夫などで対応していくことで整理させていただいています。
- グラウンドの大きさはどのくらいですか?
⇒ 四倉中学校の校庭と同等規模の大きさを想定しています。

まちづくり団体関係者様

○ 後の検討の進め方について、お願いベースのお話になります。今回の検討内容については、例えば、10人の方に意見を伺うと10人それぞれの意見があり、全員が納得するのは難しいと考えています。また、施設づくりの考え方など、文字ベースだと自分の意見が含められていると感じたとしても、それが実際に図面やイメージ図になった時に、“ちょっと違うな”ってことも生じてくるかと思います。それは進めていく中で折り合いをつけていけばいいとは思いますが、そのような中でも、施設づくりの考え方からイメージ図などを作成するタイミングでは、公募を行っていただき、今の小中学生に自分が通いたいと思う学校を自ら選んでもらえるような選定の仕組みを検討していただきたいと考えています。選定に参加した小中学生は卒業してしましますが、自分の子供を通わせたいと思ってもらえるかもしれないし、施設づくりに参加したことで、将来、市民会議や行政に携わって、四倉のために働きたいと思ってもらえるかもしれないと考えています。なので、今後の検討においては、子どもたちの目線を加えることや子ども達が施設づくりに携われるような仕組みを検討していただければと思います。

⇒ これまでの検討においては、直接、子どもたちとの対話はなく、保護者へのアンケート調査までの実施となっていました。来年度以降に事業手法の検討を行っていきますので、どのように子どもたちの声を施設づくりの考え方に反映できるのか検討していきたいと思っています。

○ プールや体育館の面積は減らさないでいただき、市や県の大会を開催できるようにしていただきたいです。駅からも近く環境もいいので、他地区から来た親子が、“四倉の学校に通わせたい”“四倉に住みたい”と思ってもらえるかもしれないと考えています。

⇒ 現在の市の状況だと、大会を開催できる大きさの施設を整備するのは難しいと考えています。例えば体育館だと、現時点では2つの屋内運動場（1つはサブアリーナ）を2層で検討していますが、これは学校規模やカリキュラムから判断して、この大きさになっています。なので、この範囲の中で、利用方法や生み出せる効果、運用方法などの考え方をブラッシュアップしていく必要があると考えています。

施設利用団体関係者様

○ 1つの敷地に小学校と中学校が立地しているのは素晴らしいと思っています。私立には小中一貫性がありますが、この状況を活かして、公立で一貫性のような環境を整備してあげれば、四倉の学校に通いたい子が増えて人口増加にも繋がるのではないかと思います。なので、どのようにすれば一貫性のような環境を整えることができるのか、みなさんで検討していければと思います。

⇒ 小中一貫校になると少しハードルが高くなってしまいますが、小学校と中学校が一体となった状況は、市内の山間部のいくつかの地区において、小中一貫推進校という言い方で整備されています。その学校では中学校の専門の先生が小学校でも授業を行う体制を整えており、四倉の学校でもそのような体制で運営をできないか検討を行っていますので、もし実現できれば、四倉の新たな魅力を発信していくことにつながるのではないかと思います。

まちづくりプレイヤー様

- 細かい話になってしまいますが、屋外プールについての意見があります。小中学校のプールを屋外に整備すると、屋根無しになるイメージがありますが、プールの授業は1カ月しか行われていないので、それ以外の期間は使用されない施設になってしまいます。そのため、プールはできれば屋内プールとしていただき、コミュニティ施設の一部として、地域での活用も検討していただければと思います。そうすれば、プールについても民間事業者が運営に興味を持っていただけるかもしれないですし、民間収益施設として運営していけるのではないかと思います。民間事業者の興味に左右されてしまうかもしれませんが、市北部地区は双相地区（檜葉町を除く）を含めてこのような施設が少ないと感じるので、是非、検討していただければと思います。
- ⇒ 実はプールの屋内化は庁内の検討においても、同様の意見がありました。これは、四倉に限った話ではなく、市全体としての整理が必要となってきます。また、民間収益施設としての運営については、事業者目線（ビジネス）での考え方を確認する必要があると思います。そのため、今後の各検討段階で実施予定の民間事業者へのヒアリングではプールに対する民間事業者の考え方も伺っていきたいと思います。資料については、屋外プールと言い切ってしまうので、プールに修正したいと思います。

PTA 関係者様

- 保護者の方から聞かれるのですが、今回の事業は駅周辺の開発になるので、JR との意見交換はされているのでしょうか？
- ⇒ 土地利用について情報共有を行ったことはありますが、具体的な協議は行っていません。JR 様とはいろいろなタイミングでお話をする機会があるので、意見交換できればと思います。

PTA 関係者様

- 学校施設と体育館・コミュニティ施設を繋ぐ中庭については、室内での移動は可能なのでしょうか？雨が降った際の移動が心配です。
- ⇒ 今回の資料は土地利用計画のイメージ図をお示しさせていただいていますが、設計の際は渡り廊下など、雨に濡れない移動ができる検討を行っていく予定です。

まちづくり団体関係者様

- 駅に隣接している場所なので、駅を利用して来ていただけるような施設になればいいなと思います。また、四倉は意外と公園が少ないので、このエリアの中に公園的な機能があるといいなと思います。
- ⇒ 駅に隣接している立地を活かして、効果の発揮の仕方、施設の開放の仕方、運用の仕方について、今後、検討を深めていきたいと思います。また、駅正面のちょっとした空間や遊歩道、エントランスが居心地の良い空間となってもらえればいいなと考えています。

区長会関係者様

- 当該施設は四倉地区の防災拠点としての位置付けになると認識しています。そのため、避難所として体育館を使用する場合は、仮設のトイレや調理場は体育館に近接して設けることが出来るようにしていただきたいです。また、避難された方の中には体調が悪くなられる方も出てくると思うので、体育館の近くには救護施設などを設営できるようにしていただきたいです。
- ⇒ 計画を策定した後は、具体的にどのような設備を導入していったらいいのかなど、福祉部門や災害対策部門と連携しながら検討を行っていきたいと考えています。また、災害対策に関しては施設づくりの考え方などにもしっかり明記できるようにしたいと思います。

(説明：今後の進め方について)

- ご意見なし